

会議要録

会議の名称	平成20年度 第2回文化財保護委員会
日 時	平成21年3月24日（火）午後14：00～
場 所	中央公民館 会議室2
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】 田中明（委員長）、副島元子（副委員長）、鈴木辰彦、富岡幸男、富岡進 ※欠席：新坂信昭、柳下稔 【和光市教育委員会】 大久保昭男（教育長）、天野憲二（教育部長）、富岡敏光（生涯学習課長）、 高田次夫（課長補佐）、鈴木一郎、中岡貴裕
傍聴者	0名

1 開会

2 教育長あいさつ

3 文化財保護委員長あいさつ

4 議題

（1）和光市指定文化財展の報告

■生涯学習課より資料にそって報告

<概要>

- ①名称：和光市指定文化財展 ～わこうで見つけた郷土のたから～
- ②期間：平成20年8月16日～31日の16日間
- ③会場：文化センター（サンアゼリア）展示ホール
- ④入場者数：のべ1,503名

<アンケート結果>

期間中アンケートを実施したところ、120名の回答があった。

※詳細は別紙のとおり

<担当者所見>

和光市初の指定文化財展ということもあり、大変有意義だったのではないかと考えている。アンケートからは、8割以上の方が「良かった」感じてくださったようである。また、各個人が所有している、ホンモノの資料を多く展示できたことについて、関係者の協力に深く感謝したい。

■質疑・意見

- ・ポスター、チラシはどの程度、どのような方法により配布・掲示したか。

→【生涯学習課】ポスター150枚、チラシ2,000枚、パンフレットを1200部印刷した。

県内の教育委員会には、それぞれポスター1枚とチラシ20枚ずつを送付した。

また、市内の公共施設、掲示板に掲示した。

- ・ポスターについて、志木のマルイにあるセンター等、人の出入りが多いところに貼れば効果的ではないか。

→【生涯学習課】今後、機会があれば利用したい。

(2) 文化財体験講座の報告

■生涯学習課より資料にそって報告

<概要>

- ①名称：文化財体験講座 ～古民家を中心として～
 - ②期間：平成20年10月8日～12月3日の7日間
 - ③会場：新倉ふるさと民家園
 - ④参加者数：のべ96名（古民家サポーター含む）
- 参加した方からは、好評をいただくことができた。

■質疑・意見

- ・旧富岡家住宅の元の所有者として、今回、講座の講師を担当した富岡委員にお話しを伺いたい。
→【富岡委員】・1年で30程度行事を行っていたことなどをお話した。
 - ・下新倉の磯崎氏が新倉地区の話をし、両者の比較等もできた。
 - ・参加者の方から多数の意見が出て、充実した講座だったと思う。
 - ・今後も同様の趣旨の講座等の予定があれば、積極的に協力したい。
- ・昔のくらしを懐かしむことができる機会として、とても良い機会だったのではないか。

(3) 新たに指定を検討している文化財について

■生涯学習課より資料にそって説明

指定文化財展で、新たに「指定文化財」となりうるものを展示した。また、議会で齋藤議員より午王山の遺跡公園化についての質問が出された経緯もある。今後、生涯学習課としても新たな文化財指定について、午王山の文化財（史跡）指定を含めて検討しているところである。

■質疑・意見

- ・午王山の史跡指定とは、具体的にどのようなものと考えているのか。
→【生涯学習課】まだ担当レベルで検討している段階である。
 - 山全体を指定するか、一部の指定にするかということになると考えられる。
 - なお、現在午王山の斜面林の一部は市の所有地となっている。
- ・予算をもって土地を購入等も行わなければ、今後どんどん貴重な史蹟が壊れてしまう可能性がある。
- ・今、市が所有している斜面林にそって指定するのもひとつの手である。
- ・指定すれば開発は止めることができるか。
→【生涯学習課】指定すれば、基本的に現状変更するためにはそのつど保護委員会に諮問し、了承を得なければならない。事実上、何も建てることができなくなるのではないかと思う。
そういった意味で、土地所有者には制限の強いものである。
- ・広く網をかけることが望ましいが、個人が所有する土地であるため、範囲が難しい。

- ・全体を文化財登録し、網掛けをしてしまうのが良いのではないか。
- ・史跡公園とするのであれば、展示施設なども見越してプランニングする必要がある。守ると同時に、活用を検討する必要があるのではないか。
- ・市街化しない、調整区域のようにすることが望ましい。
- ・牛王山は、「王」という字から様々な人がロマンを想像する。公園ではなく、畑のままでも良いので、保存に力を入れるべきではないか。

■委員長総括

- ・市に対し、指定の方向で前向きに検討してもらうよう要望するという事でよいか。
- ・話が具体的になったら、改めて協議する。

(4) 埋蔵文化財調査の報告

■事務局より資料にそって報告

<概要>

- ①確認調査：22 件。また、年度末に試掘が予定されている。
- ②発掘調査：公費により 2 件の発掘を行った。

■質疑・意見

特になし。

(5) その他

■和光市内の囃子について

<委員からの提案>

白子囃子保存会会長より伺ったところ、和光市域において、昔は白子囃子以外にもお囃子があったという。本来は競争して腕を磨いていくものであるため、白子囃子会長としては残念であるとのことだった。昔の囃子を復元することができればおもしろく、また有意義であると思う。

<意見交換>

- ・たしかに、昔は色々な囃子があった。しかし、演者はみんなお亡くなりになってしまったと思う。復元するのは難しいのではないか。
- ・白子囃子は、神社と関係が深かったから残ったのではないか。
- ・囃子は同じ曲でも連によって微妙に違う。個性が復元できればおもしろい。

■新倉ふるさと民家園 歴史講座「道路村長さんのおはなし」について

<委員からの提案>

平成 21 年 3 月 28 日に、新倉ふるさと民家園において歴史講座が実施される。市と古民家愛好会の協働による講座なので、ぜひ参加し、盛り上げてほしい。

5 閉会